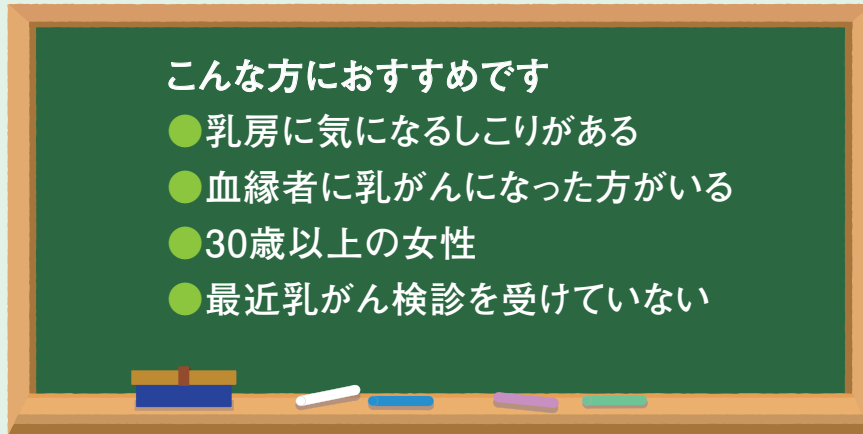


～女性のがん罹患率第1位～

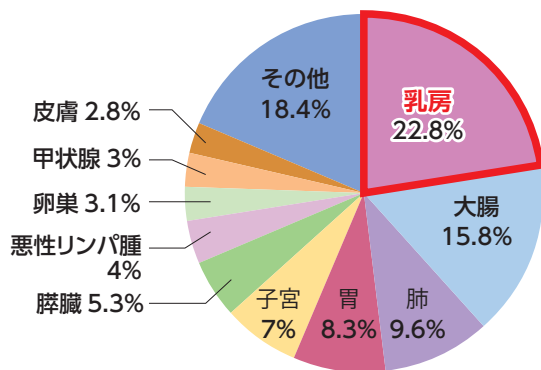
乳がん検査



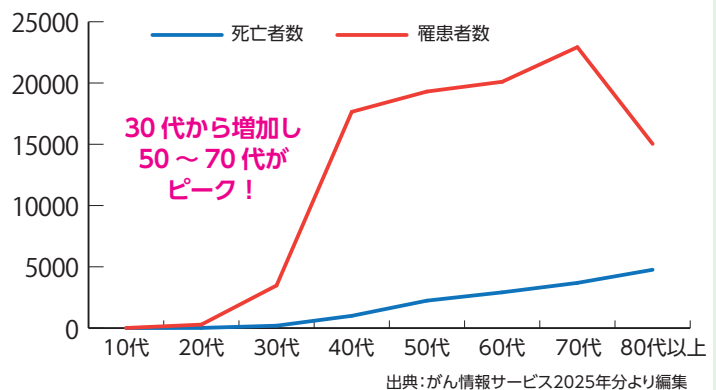
乳がんは女性のがん罹患率第1位です

- 乳がんは 20 代から増え始め、30 代から急増しますが、早期に見つかれば 90%以上は完治します。
- 食事の欧米化、晩婚化、出産回数の減少などが原因で乳がんは増加しており、今では 9 人に 1 人の女性が罹患するといわれています。

部位別がん罹患割合（2021 年）女性



乳がん罹患患者数と死亡者数（2021 年）



マンモグラフィと乳房超音波の特徴

	マンモグラフィ	乳房超音波
検査方法	・乳房をできるだけ引き出して圧迫板で挟み、薄く広げた状態で弱いX線を当てて撮影します	・乳房の表面から超音波を発生する器具（プローブ）を当て、超音波の反射の様子を画像化します
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・超音波検査では発見しにくい石灰化※が確認できます ・乳がんの死亡率を減少させることが科学的に認められており、国の指針にもとづいて実施される乳がん検診の方法として推奨されています ・検査担当者の技量に左右されにくいです 	<ul style="list-style-type: none"> ・被ばくの心配がなく、妊娠中やその可能性がある場合でも検査を受けられます（診断精度が下がる可能性があります） ・圧迫による痛みなどの体への負担がありません ・乳腺の密度が高くマンモグラフィではしこりの有無が分かりにくい場合でも確認することができます

※石灰化：乳房の一部にカルシウムが沈着したもので、乳がんでは認められることがあります（乳がん以外にも生理的な変化として確認されることもあります）

- それぞれの検査で見つかりやすい所見が異なるため、出来るだけ両方受けることが推奨されます。どちらか一方を選択される場合は、前回所見を指摘されたことがあれば同じ検査を、特になければ原則 30 歳代までは超音波、40 歳代は交互、50 歳代以上はマンモグラフィがおすすめです。

コード	検査項目	受診可能な施設			価格（税込）	所要時間
		春日	深川	品川		
PH 31	乳がんセット（マンモグラフィ、乳房超音波）	●			12,100円	約 10 分
PH 30	マンモグラフィ	●			6,600円	約 5 分
PH 29	乳房超音波	●	●	●	6,600円	約 5 分

※ 時間の表記は検査そのものにかかる時間で、前後の移動や準備、採血等の時間は含まれません。